

千歳市市民協働推進会議議事録(公開)

会議名	市民協働推進会議(第10期 第8回)		
日時	令和8年5月21日(木) 18:00~20:00	場所	市役所2階庁議室
出席者	委員:委員長を含む9人(3名欠席) 事務局:企画課長、地方創生推進係長、企画課主査		

議題	(1)ひと・まちづくり助成事業選考審査 ①食育活動事業(新規) (2)みんなで進める千歳のまちづくり条例の検証
決定事項	①の事業は附帯意見ありで採択。

◎委員 ■事業申請者 □実施担当課 ○事務局 ●附帯意見

会議要旨

(1)ひと・まちづくり助成事業選考審査

【食育活動事業】(新規)

・プレゼンテーション実施団体(5分)・・・たのしく学び隊

当団体は、2025年12月に活動を開始し、日本伝統食の継承と食育に取り組むボランティアグループです。若年層の和食離れが進む中、次世代への和食継承を目的としています。昨年度の昆布をテーマにした食育活動では、参加者満足度が高く、目的達成を実感しました。今回は千歳市内の小学3年生から中学生、保護者を対象に、「だし」をテーマとした無料イベントを企画しています。内容は調理体験や箸の使い方など、楽しみながら学べる形式を予定しており、専門講師を招き、ボランティアの協力を得て進行します。また、原油価格高騰の影響を受ける収支予算は、関係各所と連携しながら適切に調整してまいります。

・質疑(10分)

◎委員～イベントの参加人数について、詳しく教えていただけますでしょうか。

■実施団体:「だし」を学ぶところから調理体験、お箸の使い方と一連で受けていただき、対象者は計36名となります。しかし調理体験などの道具を使用しないイベントでは対象の36名の他にも追加で参加者を募ろうと考えています。

◎委員～広告費用が2800円と安価であるが、どのように工夫される予定ですか。

また募集人数が少ないように思いますが、理由はありますか。

■実施団体:広告は無料の媒体を活用する予定で、これまでも同様の広告方法で募集が来ています。このイベントでは調理道具を使用するため、ボランティアのサポートが欠かせません。そのため、安全面を確保するためにもボランティアの人数を一定数募り、募集人数をあらかじめ設定しています。

◎委員～支出項目の消耗品欄にある「顕微鏡」の使用用途は何でしょうか。

■実施団体：煮干を実際に解剖し、その中に何が含まれているかを観察することで、学びに結びつけます。

◎委員～消耗品欄にある「和食作法・箸育教材」の使用用途は何でしょうか。

■実施団体：箸の使い方や食事作法を学べるキットで、繰り返し何度でも使用可能です。

・実施団体退出

・採点・集計

・集計結果発表(別紙①)

・採択

●附帯意見 千歳市の特産品を活用した「千歳らしさ」を取り入れ、より多くの方が参加できるような内容や形式の工夫を期待します。例えば講演のみの形式にするなど、参加人数を増やせる方法を検討していただければと思います。

(2)みんなで進める千歳のまちづくり条例の検証

事務局から、市民協働の取組状況について説明をした後、現状評価・課題について、2グループに分かれて議論をした。

～その他～

○次回の第9回市民協働推進会議は6月下旬を予定しております。

以上